

【事例 H24-03-10】鳥取県大山町

自殺対策事業

住民参画の取り組みとして、心の健康に関する内容の「こころの健康カルタ」を作成し、精神保健ボランティア講座 0B 会の方を対象に、心の健康カルタ普及員として養成講座を開催した。普及啓発運動を行いつつ、「こころの健康フェア」を開催し、先進地の取組の講演・ライブ、心の健康カルタ体験などを実施した。

【実施主体】鳥取県大山町

【大綱の分類】早期対応の中心的役割を果たす人材を育成する取組

【事業予算】平成 23 年度 761 千円

【利 点】

町民からイラスト、標語を募集した「こころの健康カルタ」は集落での心の健康教育などにツールとして役立っている。また、これをきっかけに住民を対象に心の健康カルタ普及員を養成することができ、住民による普及活動が展開し始めている。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

平成 20 年～22 年は、年間男性 2～4 人、女性 0～2 人で、男性の自殺者が多い傾向が続いている。住民参画を重視した取組及び相談場所の設置等が必要である。

【計画を立てる上での工夫・等】

平成 21 年 10 月より、精神保健福祉ボランティア講座の中で、「自殺」をテーマにした学習の場を設けた。平成 22 年度には、住民参画を重視した取組及び相談場所の設置等を活動方針として、①精神保健ボランティアの方々への学習の機会を強化する取組②こころの健康カルタ作成と啓発普及を行った。平成 23 年度は、前年度に作成した「こころの健康カルタ」を活用して、心の健康、自殺対策の周知をさらに多くの方に広げていくことを方針として実施した。

【具体的な内容・実施の過程】

① 「こころの健康カルタ普及員」養成講座

精神保健ボランティア講座 0B 会の方を対象に、心の健康カルタ普及員として養成講座を開催。普及員の同意をした 13 人による普及啓発運動を行った。

② 「こころの健康フェア」の開催

大山町役場保健課が事務局となり、西部総合事務所福祉保健局と共催、社会福祉協議会が協力団体となり開催した。内容は、先進地の取り組みの講演・ライブ、心の健康カルタ体験を行った

【成 果】

① 町民からイラスト、標語を募集した「こころの健康カルタ」は集落での心の健康教育などにツールとして役立っている。また、これをきっかけに住民を対象に心の健康カルタ普及員を養成することができ、住民による普及活動が展開し始めている。

【補 足】

平成 24 年度は、心の健康に関する映画の上映会を予定し、働き盛り年代の方の参加を強化したい。また、このころの健康カルタを活用し、カレンダーを作成し全町民へ配布予定。

【課 題】 こころの健康カルタ普及の自主的な活動につなげる支援

【事業種別】 人材養成事業・普及啓発事業

【準備期間・人数】 2年、2人

【予防段階】 1次予防

【自治体規模】 人口 18,005人（H23年度） 財政規模（不明）

【自治体負担率】 無し（地域自殺対策緊急強化基金を使用しているため）

【事業対象】 住民参画

【支援対象】 全町民

【実施主体・問合せ先】 鳥取県大山町役場健康対策課

TEL:0859-54-5206

E-mail:kenkoutaisaku@daisen.jp

URL : <http://www.daisen.jp/>

【参考資料・文献】